

# 山行報告書

神戸勤労者山岳会

1. 参加者 L 仲島、池田、西尾、宮島

2. 山城／ルート

大峰・矢納谷

3. 交通手段

車

4. 行動記録

<入山日 2016 年 6 月 26 日 下山日 2016 年 6 月 26 日>

6/25(土) 20:00 神戸-24:0 林道適地泊

6/26(土) 5:44 起床-6:54 発-7:36 矢納谷出合-9:00 2 段 4m-10:30 昇竜の滝(休憩)-11:00 大釜 8m 滝で遡行打ち切り 11:10-13:30 矢納谷出合-入之波温泉-19:00 JR 尼崎

5. 山行中の問題点・事故に繋がる要因

a) 予定のルート・日程で行動出来たか？

大釜 8m 滝で遡行打ち切り。水量が多く左岸を高巻くしかなさそうだったが、時間もかかるため。

b) 事故に繋がりそうな要因（ヒヤリハット）が発生したか？

特になし。50m ザイルがあったおかげで(当初 30m フローティングのみの予定)、杣道での懸垂下降も対応できた。

c) パーティーで、山行中の事故に繋がる要因につき、山行後検討したか？

吉岡本の記録から 10 年。杣道の崩壊が進んでおり、初心者では楽しく遡行できない谷に順調に変容しつつある。

6. その他、ルートに関する情報・気がついた事など記す

・天気が良くなかったため、下多古 1 泊 2 日から変更して矢納谷日帰りにした。

(ルート情報)

・入渓するには矢納谷にかかる網の鉄橋を渡る。少し網が壊れかけていた。

・しょっぱなの矢納滝からお助け紐が必要なトラバース。落ちたら終わりの崖だが、道が崩壊していて、緊張を強いられた。

・面倒な高巻きが多くて時間がかかった。ワイヤーと流木の 4m 滝はワイヤーが健在だったので、それで遊びたければ遊ぶくらいか。

・昔の林業の跡だと思うが、巨大な支柱の跡や滝に沿うように延々とワイヤーが繋がっていた。

・下山の杣道も道が細くいやらしいトラバースが多く、昔よりも悪くなっているようである。

・途中の 8m 下部ナメ状の右岸で杣道が崩壊しており、木道、木のはしごは腐って使えない。懸垂下降で 20m ほど降りた。[\[http://blogs.yahoo.co.jp/ikko1175/54529231.html](http://blogs.yahoo.co.jp/ikko1175/54529231.html) ←はっさくさんが設置された木梯子はまだ健在だった(^^)。2013 年 10 月]←腐っており使えませんでした。ザイル 50m を持って行って良かった。2013 年にヒヤリがあったのがこの杣道のこの付近であったことがあとで判明したが、納得の悪道である。

(その他)

- ・下山が早かったので入之波温泉に初めて入れた。
- ・2013年の記録では出合までに2か所林道が崩壊しているとあったが、今回は林道は崩壊していなかった。
- ・たぶんもうこの谷には行かない。

報告者氏名 宮島 2016年7月25日